加利平之上者、更不可及其儀、不日可責渡之由、御代官方江奉書事、

〔古今著聞集十七變化〕これも仁治の頃、伊勢の國畫生庄より、百姓也ける法師のぼりて、五條坊門とみの小路にやどりて居たりけり、

藩封

〔慶應元年武鑑〕藤堂和泉守高猷大廣間從四位上中將元治元子四月任　三拾二万三千九百五十石　居城勢州安濃津江戸ヨリ百二里半

天正三、織田上總介信包、同十七、富田左近大夫、同信濃守、慶長十三、當城並伊賀國、藤堂和泉守高虎以後代々領之、

藤堂佐渡守高邦朝散大夫　五万三千石　居城勢州一志郡久居格江戸ヨリ百九里半

寛文十年、藤堂佐渡守高通營之、當所居所以後代々領之、

松平越中守定敬從四位少將元治元子四月任溜間　拾一万石　居城勢州桑名郡桑名江戸ヨリ舟路共九十四里餘

瀧川左近將監一益、後一柳右近將監直盛、氏家内膳正、慶長五、本多中務大輔忠勝、同美濃守忠政、元和三、松平隱岐守定勝、同隱岐守定行、寛永十二、松平越中守定綱、同攝津守定良、同越中守定重、寶永七、松平下總守忠雅、同下總守忠刻、同下總守忠啓、同下總守忠功、同下總守忠和、同下總守忠堯、文政六ヨリ松平越中守定永再領之、

帝鑑間朝散大夫

石川保之助　六万石　居城勢州鈴鹿郡龜山江戸ヨリ百三里半

始岡本下野守、後闕、長門守一政、居之、慶長十五、松平下總守清匡、元和元、三宅越後守康信、同大膳亮康盛、寛永十三、本多下總守俊次、慶安四、石川主殿頭昌勝、寛文九、板倉隱岐守直當、同周防守重冬、同新十郎重治、寶永七、松平和泉守乘邑、享保二、再板倉近江守重治、同周防守勝澄、延享元ヨリ石川主殿頭總慶以後領之、

雁間從五位下

增山對馬守正修　二万石　居城勢州桑名郡長島江戸ヨリ九十五里半餘

福島掃部介居、慶長六、菅沼織部正定盈、同志摩守定仍、同織部正定芳、元和六、松平隱岐守定勝、寛永二、松平美作守定房、同十二、松平能登守定政、同佐渡守忠充、元祿十五、增山兵部少輔正彌以後領之、

○略節

〔慶應元年武鑑〕帝鑑間朝散大夫本多伊豫守忠實　一万五千石　居城勢州河曲郡神戸江戸ヨリ百一里半十一町

神戸藏人友盛、住、永祿十二、織田三七郎信孝、羽柴下總守勝雅、瀧河左近將監一益、居、慶長五、一柳監物直盛、同丹後守直重、寛永十一、石川播摩守總長、同若狹守總良、同近江守總茂、元祿十七ヨリ本多伊豫守忠統以後領之、

柳間

土方聟千代　一万千石餘　在所勢州三重郡蔦野江戸ヨリ九十八里